

CITY TOPICS

まちの話題や出来事、ニュースをお届けします！

優良工事施工業者を表彰しました(敬称略)

市が発注した工事のうち、特に施工の取り組みが優秀で、ほかの模範となる工事を選定し、その施工業者9者を優良業者として、7月5日に表彰状を授与しました。

- 土木部門
- ▼(株)富士土木
- 令和3年度市道中里大通線舗装修繕工事
- ▼菅基建設(株)
- 令和2年度市道川渡中道線(川渡大橋)橋梁補修工事
- ▼(株)大架
- 令和2年度古川李塚1丁目地内外1路線排水路整備工事
- ▼我妻建設(株)
- 令和3年度市道座散乱木線道路改良工事
- ▼(有)石井土木
- 令和3年度古川地域馬寄地内排水路整備工事
- 建設部門
- ▼村田工務所・江村工務店特定建設工事共同企業体
- 大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設新築工事(建築)

- 設備部門
- ▼(株)ダイマル
- 大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設新築工事(機械)
- ▼伸晃電設工業(株)
- 大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設新築工事(電気)
- ▼(株)富士電工
- 大崎東学校給食センター建設工事(電気)

- ①左から高橋副市長、(株)富士土木、菅基建設(株)、(株)大架、我妻建設(株)、(有)石井土木、伊藤市長
- ②左から高橋副市長、村田工務所・江村工務店特定建設工事共同企業体、伸晃電設工業(株)、(株)ダイマル、(株)富士電工、伊藤市長



監査委員の就任

5月20日付で、只野直悦市議会議員が就任しました。また、7月10日付で、前大崎市総務部長の門脇喜典氏と再任となる伊藤玲子氏が就任しました。任期は、只野議員が令和8年4月29日まで、門脇氏と伊藤氏が7月9日までの4年間となります。



ただの 直悦 只野 直悦
な お え つ 門脇 喜典
か ど わ き よ し の り 伊藤 玲子
い と う れ い こ

新しい副市長です

どうぞよろしくお願いいたします

副市長として、平成26年7月から、市政発展のためご尽力いただいた高橋英文氏が退任し、7月18日付で吉田祐幸氏が就任しました。任期は、令和8年7月17日までの4年間となります。



よ し だ ひ ろ ゆ き 吉田 祐幸 昭和33年生まれ

- 一略歴一
- 昭和56年4月 宮城県職員
 - 平成23年4月 北部地方振興事務所長
 - 平成26年4月 農林水産部長
 - 平成27年4月 経済商工観光部長
 - 令和2年4月 宮城県信用保証協会会長

親子カヌー教室が開催されました

7月2日、松山地域の下伊場野水辺の楽校公園付近の鳴瀬川で、「親子カヌー教室」が開催されました。

この教室は、親子で川で遊ぶことの楽しさや、川に潜む危険性について学んでもらおうと、下伊場野小学校が開催している夏恒例の行事です。

当日は、厳しい日差しが照り付ける中、児童・保護者など総勢38人が参加しました。講師から説明を受けた後、親子でカヌーに乗り、息を合わせてパドルで漕ぎ、川で遊ぶ楽しさを学びました。

併せて行われた着衣泳では、川に浮く体験を通じ、川の流れの強さを体感しながら、川の危険性を学びました。暑さを忘れ、川の魅力に触れた楽しい1日でした。



▲思わず一回転!背中でゴールし、笑みがこぼれました

◀全身で川遊びを楽しんだ子どもたち

三本木地域で小・中学生卓球研修会が開催されました

7月9日、三本木総合体育館を会場に第2回小・中学生卓球研修会が開催されました。

この研修会は、小・中学生の女子を対象としたもので、市内外から約120人が参加し、講師に元女子卓球競技オリンピック代表・ロンドンオリンピック銀メダリストの平野早矢香さんを迎え、開催されました。

はじめに、平野さんの幼少時代からの練習方法や、試合でのエピソードなどを交えた講話を受け、その後、実技形式の技術講習となり、参加した選手たちはトップアスリートの技術を肌で感じる、よい機会となりました。



◀基本となる身体の軸の大切さ、上手な体重移動の方法を指導する平野さん

Discover OSAKI

おらほのニュース発信します!

7月の主な出来事

- 5日 ● 令和4年度大崎市優良工事表彰状授与式
- 6日 ● 「大崎市水害に強いまちづくり」共同研究専門家会議(第2回)
- 7日 ● 令和4年度大崎市工業会通常総会
- 8日 ● 令和4年度大崎市道路クリーンキャンペーン出発式
- 令和4年度大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム通常総会
- 10日 ● 第26回参議院議員通常選挙投票日
- 26日 ● 旭日中綴章 鹿野文永元鹿島台町長を偲ぶ会

おおさき宝大使 女子プロボクサー 藤岡奈穂子選手が市役所を訪れました

藤岡選手は、4月9日(日本時間10日)にアメリカ合衆国テキサス州で開催された、WBA、WBC女子世界フライ級王座統一を逃しました。

7月5日、地元大崎市を訪れ、当時の心境と今後について語ってくれました。

試合直後は、もう無理、やめよう、と思ったのですが、「またアメリカに呼びたい」と声を掛けられ「肩書きはなくなってしまったが、一人のボクサーとして認めてもらえた。まだ、需要があるのであれば、現役で頑張りたい。限界も感じていない」と力強く話しました。

今後は、環境が整っているアメリカでの練習を考えており、世界での試合を目指します。

新たな目標に向かって努力し続ける藤岡選手を応援します。

▶試合前には、必ず大崎の米を食べると話す藤岡選手。「ささ結」を進呈

